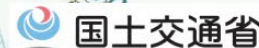


金沢市地産地消の再生可能エネルギーによる公共交通脱炭素化事業(石川県金沢市)

まちづくり・エネルギー×交通



事業実施主体

【共創プラットフォーム】

金沢市地産地消の再生可能エネルギーによる公共交通脱炭素化推進プラットフォーム

【実施主体】金沢市

【共創パートナー】金沢エナジー株式会社(エネルギー)

北陸鉄道株式会社、西日本ジェイアールバス株式会社(交通)

地域課題

金沢市中心市街地の細街路を運行している「金沢ふらっとバス」は、ディーゼルエンジン駆動の車両を使用しているが、細街路での排出ガス削減や、内燃機関車両特有の変速ショックによる高齢者等の車内事故低減が喫緊の課題

実証事業の内容

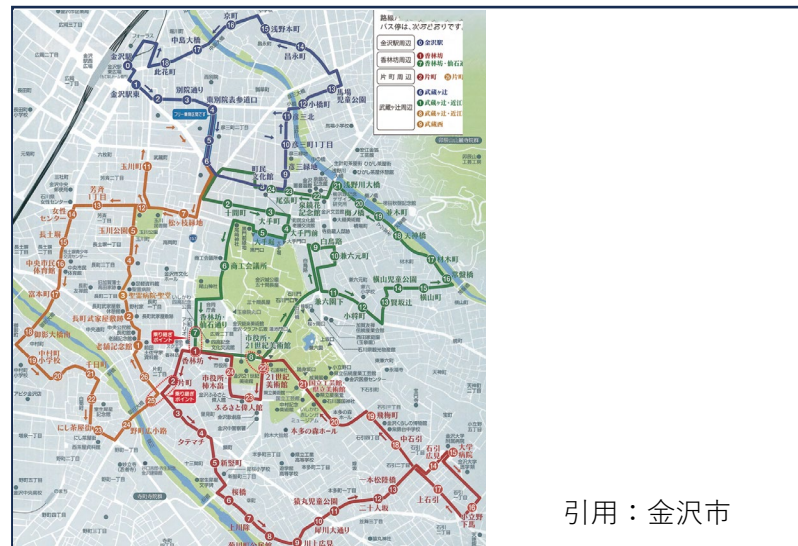
金沢ふらっとバスの運行委託先である北陸鉄道及び西日本ジェイアールバスと連携し、運行ルート(4ルート)において、最も電力を消費する冬期間に1日通してEV車両を運行した際に、走行環境、走行用バッテリーの性能、乗務員の適応可能性等に課題が生じないか検証する。また、走行実験の際の使用電力は、金沢エナジーが提供する「金沢産かつ再生可能エネルギー(水力)由来」の電力を使用し、再生可能エネルギー由来の電力による運行の可能性について、あわせて検証する。

このような関係者の連携により、今後の電力の地産地消や、脱炭素社会に寄与するまちづくりを推進する。

今後の展開

今回のEV化実証運行で問題が認められなかった場合は、この枠組の中でEV車両を導入し、運行することとなる。また、地産地消の再生可能エネルギー由来の電力を使用する枠組みについては、今回構築する金沢市・交通事業者・電気事業者によるプラットフォームを活用し、より具体化する。

事業実施区域



事業体制

